



農業用水源の湿原の生態系に配慮した保全

やまむろ

山室保全会（滋賀県米原市）

まいばらし

- ラン科の多年草であるサギソウ等の希少性の高い植物を有する山室湿原は、農業用水の水源としても重要な役割を果たしている。
- 自治会が母体となり、平成24年度に活動組織を設立。地域の草刈や泥上げ等の共同活動のほか、高度な農地・水の保全活動として、
 - ・琵琶湖の水質保全に資する循環かんがい施設の保全等
 - ・山室湿原における管理・観測用の歩道(木道)の補修を実施した。

【地区概要】

- ・取組面積 29ha（田 29ha、畑 0.1ha）
- ・資源量 水路 7.7km、農道 4.4km、ため池 2箇所
- ・主な構成員 農業者、自治会、老人会、婦人会
- ・交付金 約1百万円(H29)
 - （ 農地維持支払
資源向上支払(共同) ）

木道の補修

現状

- ・地域住民の生活の変容により、湿地の利用が減少し、人的管理が行き届かなくなったことから、湿地の陸地化が進行している。

- ・管理用の木道は、湿原の生態系への配慮から防腐剤を使用していないため、劣化が早く、補修等の保全管理が課題となっている。



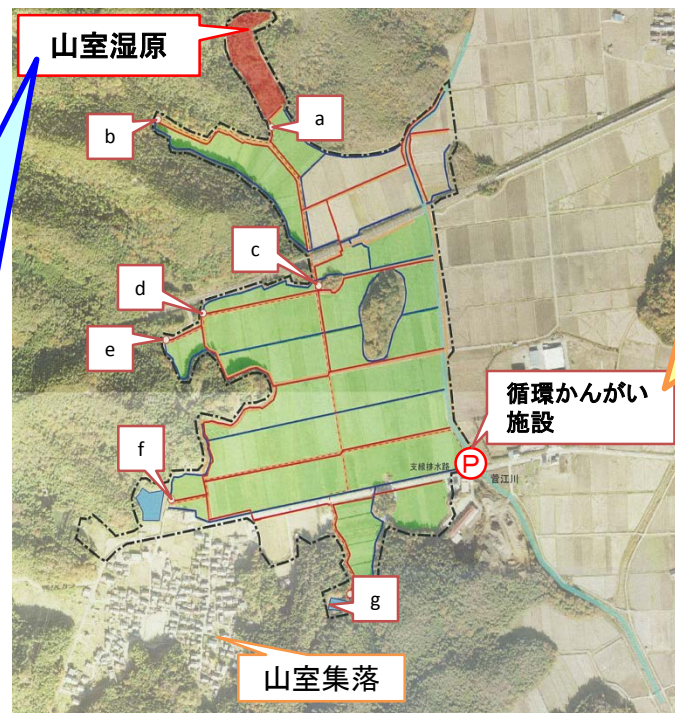
劣化の進行した木道

高度な農地・水の保全活動による木道の補修



補修状況

山室湿原



循環かんがい施設

山室集落

循環かんがい施設の保全

現状

- ・昭和60年頃のほ場整備により設置した揚水機場（図のⓅの位置）からa～g地点まで排水をポンプアップし、循環かんがいを実施している。
- ・農業管理組合により揚水機場を管理していたが、高齢化の進行等により吸水槽の土砂上げ等に苦慮している。

高度な農地・水の保全活動による循環かんがい施設の保全



循環かんがい施設内部

真空ポンプの更新



取組における課題および今後の展開

- ・山室湿原の管理で年3回の伐採を実施しているが、伐採後に発生する残材の処分が課題となっている。
- ・地域資源の保全管理を恒久的な活動とするため、より参加しやすい環境づくりが必要。将来的には、山室湿原の保全を通して、サギソウの村として地域活性化を図りたい。